

< 機械・農作業の共同化を実施している事例 >

みんなの畦塗機で畦塗り作業が迅速化

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	鹿児島県始良郡始良町 北山下 <small>あいらぐんあいらちよう きたやましも</small>			
協定面積 13.3ha	田(100%) 水稲	畑	草地	採草放牧地
交付金額 279万円	個人配分	38.1%		
	共同取組活動 (61.9%)	集落の各担当者の活動に対する経費	15.5%	
		研修会の実施及びピオトープの維持管理	12.4%	
		農作業共同化準備金	11.1%	
		農作業受託組合活動費	9.3%	
		鳥獣害防止対策及び道・水路等の維持・管理	6.8%	
		農用地の維持・管理活動を行う者に対する経費	6.8%	
協定参加者	農業者33人			

2. 取組に至る経緯

当地域は、水稲及び畜産の複合経営が主体となる地域であり、冷涼な気候からおいしいお米の産地となっている。

また、狭い農地ながら園芸振興等にも取り組んできたが、過疎・高齢化は進む一方であった。

そこで、当制度に取り組み、基幹作物の水稲については共同化等による集落営農システムの確立を推進し、地域の農家が一体となり農地の有効利用を図ることとなった。

3. 取組の内容

当地域では、中山間地域に位置することから、モグラ等の被害により畦からの漏水が発生し、水田での保水に悪影響が出ていた。さらに、農家の高齢化が進み、畦塗り作業が深刻化する中、地域の話し合いにより、平成13年と平成19年に畦塗機を共同購入し、地域全体で活用している。

また、田植えや稲刈、脱穀作業等についても、高齢化や後継者不足が深刻化し、耕作できない農家が発生してきた。そのため、地域では先進地研修や町内の中山間地域等との情報交換会を開催することで、受委託組合の必要性を認識し、地域の機械保有者がリーダーとなり、平成20年5月3日に農作業受委託組合を設立した。

現在は、地域の高齢者等の水稲作業受委託システムを構築中であり、農作業の共同化についても検討している。

その他、環境にやさしい農業への取組も実践しており、有機農業へ取り組む生産者もいる中、協定参加者の大部分が米のエコファーマーの認定を受け、安心・安全な米づくりに取り組んでいる。

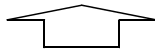


周辺林地の下草刈作業

[集落の将来像]

地域の農家が一体となった農作業の共同化を確立し、耕作放棄地等の発生防止や農産物の販売・加工等に努める。

また、環境保全型農業へ取り組むとともに、景観作物の植栽、地域の環境を活かした体験事業の開催や地元小学校との交流を図り、地元高齢者の「元気で健康なふるさとづくり」に努める。



[将来像を実現するための活動目標]

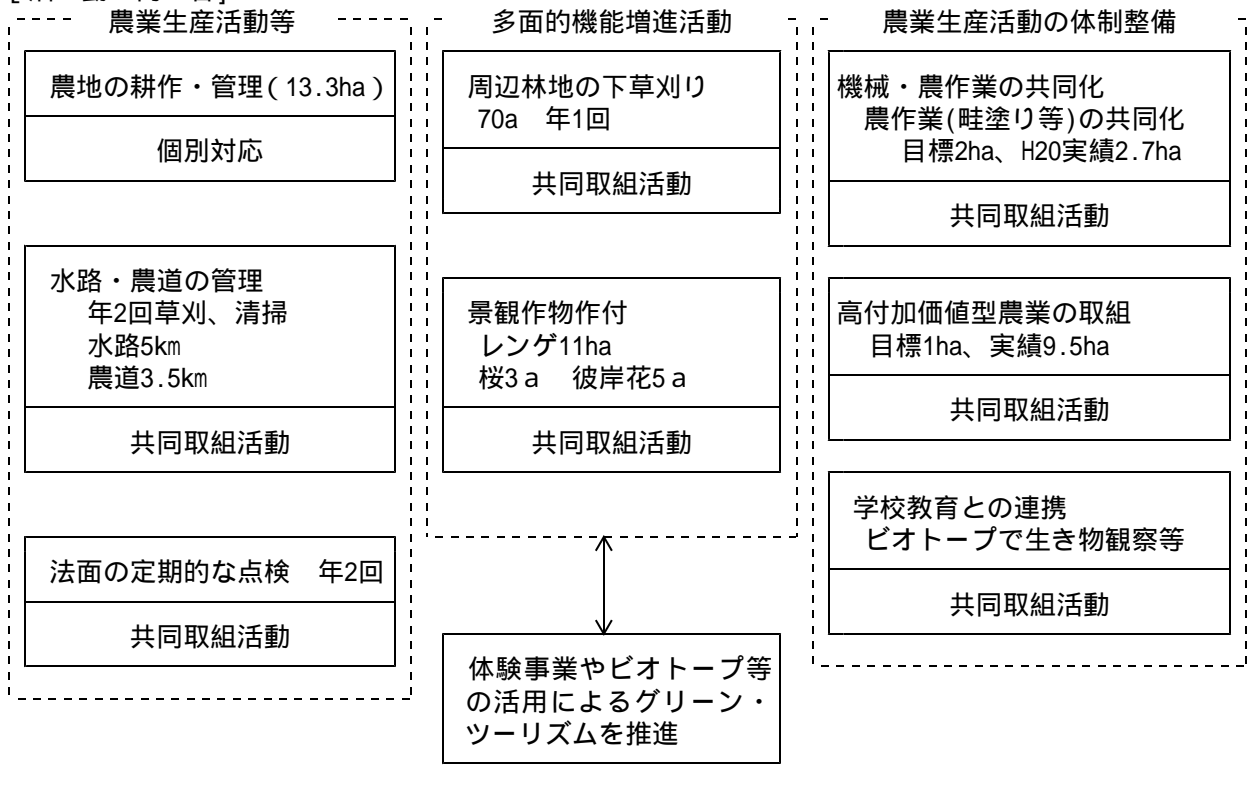
園芸作物の栽培講習会や事故防止講習会の開催と地産地消の確立

おいしい米づくりの推進

機械の共同化、作業の共同化の確立

農業体験等による子供たちと高齢者等との交流の場の確保

[活 動 内 容]



4. 取組による変化と今後の課題等

集落で検討会を開催し、農作業の委託者や未耕作地の状況を把握することにより、農作業の共同化等を図り、農地の維持管理を実践している。

今後は、さらに高齢化等が進むことから受委託組織の強化が求められるため、共同作業、共同機械購入に向け検討を重ねていきたい。

[平成20年度までの主な成果]

共同機械の購入(畦塗機、動力噴霧器)

高付加価値型農業の実践 目標取組面積 1ha、H18 7.3ha、H19 9.5ha、H20 9.5ha

協定参加者(30人)のエコファーマー認定、有機JAS認証農家2戸

学校教育機関と連携した生き物調査等 参加者 H20 40人